

第一回 余市町デジタル田園都市総合戦略委員会

「第2期 余市町まち・ひと・しごと創生総合戦略」成果報告
及び次期総合戦略策定方針について（概要版）

2025年1月

余市町総合政策部政策推進課

目次

- 01 背景 - 国の総合戦略改訂
- 02 現行の地方版総合戦略について
- 03 現行の地方版総合戦略の振り返り
- 04 次期地方版総合戦略の改訂方針について
- 05 次期総合戦略 地域ビジョン案について
- 06 改訂スケジュール案

1. 背景 - 国の総合戦略改訂

1. 背景 - 国の総合戦略改訂

「デジタル田園都市国家構想総合戦略」への改訂

令和4年12月、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が「デジタル田園都市国家構想総合戦略」へ改訂された。地方も国の改訂を参考に、それぞれの地域が抱える社会課題などを踏まえて、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを掲げた「地方版総合戦略」の策定に努めることが求められています。

○改訂の背景

- ・人口減少や少子高齢化への対応
- ・デジタル技術の進展とその可能性
- ・コロナ禍を経た社会構造の変化

次期余市町の総合戦略の改訂において

「第2期 余市町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の成果・反省点の反映のほか、「**デジタル田園都市国家構想総合戦略**」としての策定が必要

2. 現行の地方版総合戦略について

現行の地方版総合戦略について

策定期間：2020年4月～2025年3月（5年間）

第2期 余市町まち・ひと・しごと創生総合戦略

町全体の総合的な振興・発展を図る総合計画と連動し、まち・ひと・しごと創生法に基づき

地域の実情に応じた人口減少の克服と地方創生の実現に向けた集中的な取組として位置づけ。

策定期間においては数値設定を原則とした成果目標、重要業績評価資料（KPI）を設定。客観的な検証を行う。

余市町人口ビジョン

まち・ひと・しごと創生法に基づき、本町の総合戦略を策定するべく、人口減少に関する認識の共有を目指すとともに、今後の目指すべき将来の方向性・人口を展望する基礎資料。

本町では社会保障・人口問題研究所の推計値に準拠し**2045年までの中期的な将来推計**に重点を置いている。

現行の地方版総合戦略について

<目指す姿>

「みんなが集い、いつも安心してすごせるまち よいち」

<重点フィルタ>

1. 後志自動車道余市ICの活用とニセコエリアへの高規格道路延伸
2. 中心部の強力な誘客施設と町内一円に広がる多彩な観光コンテンツ
3. 全国最上位のワインぶどう栽培量や特区制度によるワイナリー集積を活用したクラスター産業

<基本目標>

余市町の強みを生かした産業を振興し、雇用の創出や将来の担い手を確保する

人の流れをつくり、余市町の住みたい、関わりたいという希望をかなえる

町民すべてが安心して暮らしや子育てができる余市町をつくる

広域連携や官民協働を推進し、将来につながる余市町をつくる

3. 現行の総合戦略の振り返り

現行の地方版総合戦略の振り返り

<基本目標 1 >

余市町の強みを生かした産業を振興し、雇用の創出や将来の担い手を確保する

●成果目標 「町内の創業・起業件数」 40件 ※2023年度末時点 39件 (達成率98%)

<主な施策とKPI>

主な施策①	金融機関や商工会議所等の関係機関と連携した創業・起業支援（各種補助制度の利用件数）						20件
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0件	2件	8件	8件	5件		115%
主な施策②	町内高校生による地域課題解決に向けた取組（町内高校生による取組の提案件数）						5件
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0件	2件	3件	2件	1件		160%
主な施策③	新規就農活動支援センターをはじめとした、第一次産業への就業促進の取組強化（第一次産業への新規就業者数）						20人
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0人	8人	11人	7人	10人		180%
主な施策④	ワイン産業のさらなる発展に向けたワイン用ぶどう栽培への支援（ワイン用ぶどう生産者の増加数）						8件
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0件	2件	5件	1件	6件		175%

現行の地方版総合戦略の振り返り

<基本目標2>

ひとの流れをつくり、余市町に住みたい、関わりたいという希望をかなえる

●成果目標 「転入者数」 3,750人 ※2023年度末時点 2,745人 (達成率73%)

<主な施策とKPI>

主な施策①	移住窓口のワンストップ化によるサポート体制の充実（移住窓口への相談件数）						30件
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0件	6件	10件	8件	3件		90%
主な施策②	住宅取得等支援の充実による移住促進及び町内居住者の定住促進（住宅取得等支援利用件数）						50件
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0件	15件	17件	14件	39件		170%
主な施策③	ワインを核とした観光の推進による札幌圏・ニセコ圏からのインバウンドを含んだ来訪者数の獲得（年間観光入込数の増加）						10万人
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0万人	-61万人 (前年比)	2万人 (前年比)	36万人 (前年比)	22万人 (前年比)		▲10%
主な施策④	ふるさと納税事業の拡充による、関係人口の増加（ふるさと納税の寄付件数の増加）						1,250件
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0件	10,566件 (前年比)	13,971件 (前年比)	2,954件 (前年比)	22,757件 (前年比)		2,632%

現行の地方版総合戦略の振り返り

<基本目標 3 >

町民すべてが安心して暮らしや子育てができる余市町をつくる

●成果目標 「合計特殊出生率の平均」 1. 7 ※2023年度末時点 1. 06 (達成率 62%)

<主な施策とKPI>

主な施策①	少子化、核家族化により子育てに孤立感や不安を感じている保護者への支援（地域子育て支援拠点事業の利用数の増加）						17件
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	41件	-19件 (前年比)	0件 (前年比)	3件 (前年比)	6件 (前年比)		52%
主な施策②	母子保健事業の充実による、安全なお産が迎えられるためのきめ細やかな支援（妊娠届出件数）						435件
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0件	92件	74件	72件	70件		71%
主な施策③	公共交通網の再編や公共施設等の適正な管理による暮らしやすいまちづくりの実現（町内バス路線の利用者の増加）						20%
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0%	-22% (前年比)	-4% (前年比)	-33% (前年比)	1% (前年比)		43%
主な施策④	町民の防災意識向上のため、各種災害訓練や講習会・学習会等を実施（区会等への災害訓練や講習会等の開催件数）						10回
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0件	3件	4件	7件	11件		250%

現行の地方版総合戦略の振り返り

<基本目標4>

広域連携や官民協働を推進し、将来につながる余市町をつくる

●成果目標 「官民協働・広域連携の新たな取組件数」 16件 ※2023年度末時点 38件（達成率238%）

<主な施策とKPI>

主な施策①	他自治体との共同事業や交流事業による広域連携の推進（他自治体と連携した取組件数）						20件
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0件	3件	2件	2件	4件		55%
主な施策②	民間資金の活用や協定等による官民協働の推進（官民協働の新たな取組件数）						3件
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0件	4件	5件	6件	5件		667%
主な施策③	庁舎内外へ未来技術を導入し、業務効率や人手不足等の課題を解決（庁舎内外への未来技術の導入件数）						3件
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0件	1件	0件	2件	1件		133%
主な施策④	地域おこし協力隊や各種制度を通じた外部人材の活用による課題解決（外部人材を活用した新たな取組件数）						10件
KPI	当初値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成率
	0件	3件	1件	8件	2件		140%

現行の地方版総合戦略の振り返り

まとめ

評価分野	詳細
産業の活性化	産業生産高全体では減少しているものの、地方創生交付金を活用したワインツーリズムの促進等により新規就農者の増加などワイン関連産業の伸長傾向がみられた。
人口推移	出生率の低下や転入者の伸び悩みにより、自然減・社会減により全体的に減少傾向であり、人口ビジョンの推計値に沿って人口減少が進んでいる。
観光入込	コロナ感染症の影響を大きく受け落ち込みが顕著となったが、ふるさと納税や農園ボランティアなどの戦略的広報が効果的で、関係人口の拡大が図られた。
子育て支援・公共交通	地域子育て支援拠点の整備により住民の満足度向上は見られたものの、利用率の向上は図れず、地域ニーズの的確な把握と広報・啓発活動の強化が引き続き課題である。一方で、公共交通はオンデマンド交通などの施策を通じた利便性向上に引き続き注力する必要がある。
官民協働	外部人材の積極的活用や産官学をはじめとする広域連携に伴う新たな取組が進んでいるものの、長期視点を持って、継続的な連携体制の構築が必要と考えられる。

現行の地方版総合戦略の振り返り

総括

「第2期余市町まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、ワイン産業を中心とした産業振興やふるさと納税の大幅な増加といった成果が見られた一方、人口減少や少子化、観光分野における未達成部分も浮き彫りになった。

特に、ワイン用ぶどうの生産者支援や新規就農者数は目標を大幅に上回る結果となり、産業振興においては一定の評価ができる。一方で、観光入込数や転入者数といった指標はコロナ禍の影響もあり目標未達成となり、課題として残った。

また、防災訓練の実施や官民協働の取組においては高い達成率を示したものの、子育て支援の利用率や公共交通の利便性向上に向けて、次期計画でも引き続き取り組む必要がある。

4. 次期地域版総合戦略の改訂方針について

次期地方版総合戦略の改訂方針について

<作成方針>

○背景

- ・「第2期余市町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の成果と課題を踏まえて策定
- ・国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」および地方版総合戦略の改定方針

○主な成果 ワイン産業振興、ふるさと納税増加、防災対策強化、外部人材活用等による官民協働

○主な課題 人口減少・少子化、観光の再活性化、公共交通の利便性向上

<基本方針>

○国の総合戦略を参考に以下を重視

- ・デジタル技術の活用
- ・地域間連携の深化

○最新の人口動態等を反映し、町の理想像を再構築

○住民が安心して暮らせる持続可能なまちづくりを推進

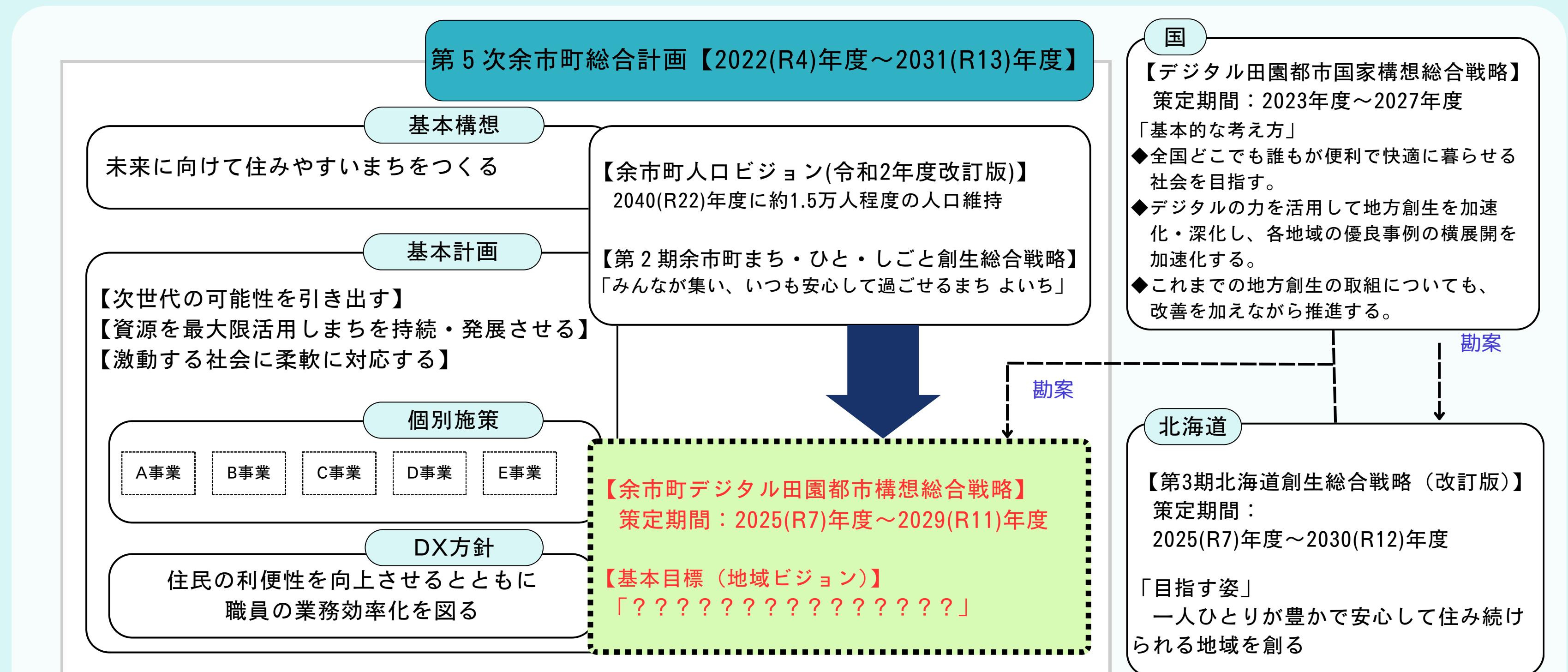
<他の計画等との整合性>

- ・「第5次余市町総合計画」
- ・「余市町自治体DXに関する全体方針」
- ・国「デジタル田園都市国家構想総合戦略」
- ・道「第3期北海道創生総合戦略（改訂版）」

デジタル技術の活用、地域資源の最大活用、移住・定住支援、官民協働を柱とした新たな計画を策定

次期地域版総合戦略の改訂方針について

現行の余市町総合計画・総合戦略・DX方針との関係



改訂の基本的な考え方

1 施策の方向性

人口減少を抑制し、将来的にわたり持続可能な地域を実現していくために、次期においても国の総合戦略における施策の方向を踏まえて、効果的に施策を推進していきます。

また、改訂においては令和3年度に策定済の「第5次余市町総合計画」のほか、国から提供される最新の国勢調査や社人研推計の基礎データ等の情報を勘案し、これまで取り組んできた地方創生の各種取り組みについて検証を行い、改善を加えながら検討を進めることとします。

(国の総合戦略における施策の方向) ※「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」より

(1)デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上

- ①地方に仕事をつくる
- ②人の流れをつくる
- ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④魅力的な地域をつくる

(2)デジタル実装の基礎条件整備

- ①デジタル基盤整備
- ②デジタル人材の育成・確保
- ③誰一人取り残されないための取組

改訂の基本的な考え方

2 具体的な施策

基本的方向として設定した目標の実現に向け、効果的に推進するためにこれまでの取組の成果を踏まえつつ、デジタルの力を活用して取組を発展させるなど、新たな視点や見直しを加えて、施策・事業を展開します。

<次期戦略の主な視点を示すキーワード>

人材育成 複合化 シティプロモーション 結婚・出産・子育て 交流 関係人口 健康 安全・安心
DX GX エネルギー 産官学連携 起業・就業 移住・定住 働き方 外部人材 ふるさと納税 SDGs
ガストロノミー、公共交通

<具体的施策の目標と指標の設定の例>

【余市町への移住・定着の推進】

・東京圏からの移住者数…▲年度に●●人

「余市町とのつながりの構築（関係人口の創出・拡大に係る施策の目的と指標）」

◆例1

目的：余市町の魅力を体験する機会の創出

指標：おためし移住やワーケーションプログラムに参加した人のうち、その後も継続して余市町とかかわりを持っている人の割合等

◆例2

目的：地域活動の担い手不足に悩む地域の活力の向上

指標：オンラインやSNSツールでの関わりを含め継続的に地域活動に関与してくれる人の数または割合 等

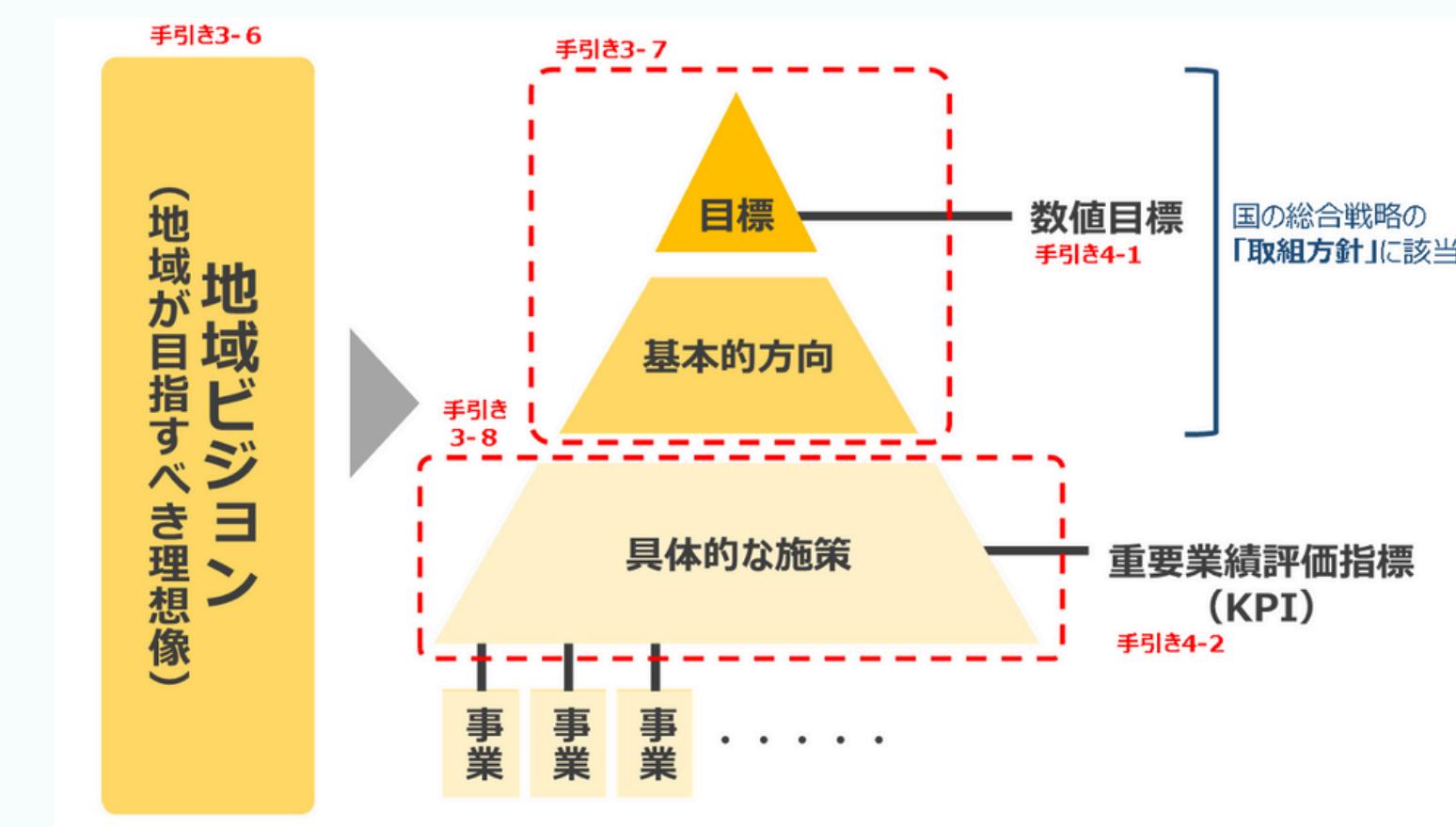
改訂の基本的な考え方

3 次期戦略の骨格

次期戦略は国の地方版総合戦略の改定手引きに基づき構築します。
本戦略は、以下を骨子として策定を進めます

【総合戦略の骨子】

- ・地域ビジョン: 町の目指すべき理想像を明確に示す。
- ・基本目標: 具体的な分野ごとの達成目標を設定する。
- ・具体的施策及びKPI: 各目標の達成に向けた施策を具体化し、進捗を評価するための指標を設定する。



図：地方版総合戦略の全体的構成イメージ

5. 次期総合戦略 地域ビジョン案について

次期総合戦略 地域ビジョン案について

ここまで検討を元に、
次期総合戦略の地域ビジョン案を以下の通り提案いたします。

地域ビジョン案

「自然と産業が共存し、未来へつなぐ、誰もが住みやすく 訪れたくなるまち 余市」

- ・総合計画との一貫性

総合計画「未来に向けて住みやすいまちをつくる」と調和し、次世代への持続可能性を強調。

- ・余市町の特性を反映

自然環境とワイン産業・観光の調和を目指し、地域資源を最大限に活用。

- ・住民と外部への訴求

「住みやすさ」で住民目線を重視し、「訪れたくなるまち」で観光・移住者を引きつける。

今後、上記ビジョンをベースに基本目標、具体的施策及び各KPIを設定してまいります。

6. 改訂スケジュール案

改訂スケジュール案

- ・2025年1月 第1回 策定委員会 (現行総合戦略の振り返り及び策定方針提示) ※今回
- ・2025年2月 第2回 策定委員会 (新規総合戦略案提示)
- ・2025年2月 第3回 策定委員会 (第二回の指摘を元に最終案作成)
- ・2025年3月 パブリックコメント実施
- ・2025年3月 第4回 策定委員会 (完成版の提示・報告)